

自転車を安全で快適にご使用いただくために！

キューティーキッズチャイルドシートSTD取扱説明書

このたびは当社の製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

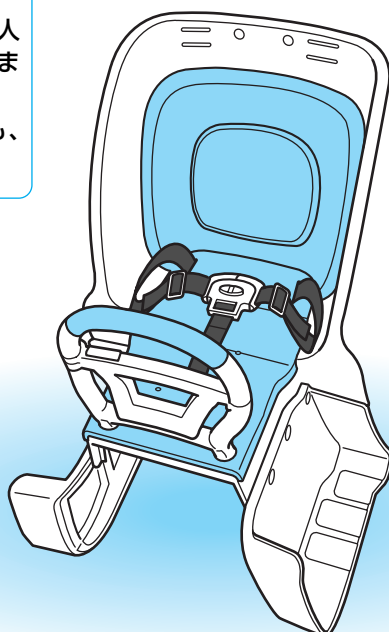
警告

- この商品は適正な取り付けのため、自転車販売店で取り付けてください。
- お客様の安全のために、ご使用になる前に必ずこの説明書をお読みください。
読まれたあとは大切に保管してください。

注意

このチャイルドシートは「幼児2人同乗基準適合車」には対応していません。

(別売ヘッドガードを装着しても、対応しません)



- 品番：A551600
- 略号：RCS-LS1

目次

- | | | | |
|---|---|------------------------------|----|
| ●警告表示について..... | 2 | 5. お子様をチャイルドシートから降ろすときは... | 4 |
| ●はじめに | 2 | 6. 保管のしかた | 4 |
| 1. ご使用できるお子様..... | 2 | ●各部の名称..... | 5 |
| 2. 取り付け可能自転車..... | 2 | ●チャイルドシートの操作方法..... | 5 |
| 3. 取り付け時の注意 | 3 | 1. シートベルトの調整..... | 5 |
| ●ご使用時の注意 | 3 | 2. フットレスト（足のせ）の高さ変更方法 | 6 |
| 1. お子様をチャイルドシートに乗せる前に
確認してください | 3 | 3. 背もたれ角度・座面調整方法 | 8 |
| 2. お子様に乗せる時の注意 | 3 | 4. 簡易バスケットとして使用する場合 | 9 |
| 3. お子様をチャイルドシートに乗せたら..... | 4 | 5. ヘッドガードについて（別売オプション） | 10 |
| 4. 走行時の注意 | 4 | 6. ヘッドガードの使い方（別売オプション装着時）... | 11 |

警告表示

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、自転車がこわれるなどのおそれがあります。

表示の意味



警告

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。



禁止

この表示の欄は、「安全上してはいけない危険行為および保証範囲外の行為を表す」内容です。



強制

この表示の欄は、「使用者に必ず実行していただく」内容です。

はじめに

自転車にチャイルドシートを取り付けて、お子様を同乗させることにより、自転車のハンドル操作や走行安定性を損ない、制動操作時に制動距離が長くなりますので、注意してください。

1. ご使用できるお子様

- 自転車に装着されているリヤキャリアの仕様（強度区分）により異なります。

リヤキャリアの仕様	お使いになれるお子様
MAX25kg表示（クラス25）	2歳以上、体重20kg以下、身長115cm以下
MAX18kg表示（クラス18）	2歳以上、体重13kg以下、身長100cm以下
MAX10kg表示（クラス10）	使えません（キャリアの強度が足りないため）

※本チャイルドシートの重量は3.5kgです。（キャリアへの取付部品含む）

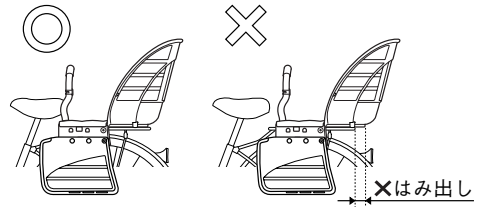
2. 取り付け可能自転車

- 24インチ以上28インチ以下のシティ車（婦人用軽快車）、です。但し、以下のことを確認してください。
- ①自転車の取扱説明書を確認して、装着キャリアの強度区分確認などを行い、取り付けを禁止している自転車やキャリアには取り付けないでください。また、取扱説明書に記載がない場合には販売店にご相談ください。
- ②取り付けには、必ず、幅150mm以上のリヤキャリアが必要となります。
- ③運搬用の実用車などに装着されている、特別な形状のリヤキャリアには取り付けできません。
- ④ブリヂストンサイクルが販売している、アンジェリーノミニ、アンジェリーノRのリヤキャリアには取り付けできません。
- ⑤一般のシティ車に標準装備されているリヤキャリアはMAX18kg表示が多いので、キャリアの強度区分をご確認し、上表の使用範囲を守ってください。
- ⑥体重13～20kgのお子様を乗せる場合は、MAX18kgのリヤキャリアでは強度不足になりますので、MAX25kg表示のリヤキャリアを装着する必要があります。キャリアを交換する際は、自転車の取扱説明書を確認して、その自転車が強度的に耐えられるか確認してください。
- ⑦小さい自転車ほど取り付け位置に制限ができたり、使用した時に安定性が低下しますので、ご注意ください。
- ⑧必ずロック付きの両立スタンドの自転車をご使用ください。1本スタンドやロックのないスタンドの自転車には使用しないでください。
- ⑨足の巻き込み防止のために必ずドレスガードを取り付けてください。ドレスガードの無い自転車にはドレスガードを必ず取り付けてください。
- ⑩一般のシティ車に取り付けできるチャイルドシートは自転車1台につき1つです。
- ⑪このチャイルドシートは「幼児2人同乗基準適合車」（3人乗り）には対応していません。

3. 取り付け時の注意

⚠ 注意

- 安全にご使用いただくために、お買い上げいただいた販売店での取り付けをお願いします。
- 一般のシティ車に取り付けるチャイルドシートは1つに限ります。
- このチャイルドシートは「幼児2人同乗基準適合車」(3人乗り)には対応していません。
- 自転車のリヤリフレックスリフレクタの後方からの視認の妨げにならないように取り付けてください。
- チャイルドシートをリヤキャリアの後方に取り付けますと、破損の危険や重心が不安定になる恐れがありますので、必ずサドルに近づけて(可能な限り)取り付けてください。
- ペダルをこいだ時にカカトなどが触れない位置に取り付けてください。
- 走行中に後輪錠が作動すると危険ですので、自転車の後輪錠にお子様の手が届かないように取り付けてください。
- 取り付け時は、ネジやナットを確実に締めてください。
- ドレスガードやロック付きの両立スタンドを取り付けてお使いください。



ご使用時の注意

1. お子様をチャイルドシートに乗せる前に確認してください。

⚠ 警告

- チャイルドシートご使用時にはチャイルドシート後側左下面に書いてある警告文を良くお読みください。
- 使用するときはチャイルドシート及びリヤキャリアが確実に取り付けられていることを確認し、破損・変形等したまま使用しないでください。また、シートベルトが傷んでいないか確認してください。少しでも異常を感じた場合は使用を中止し、販売店にご相談ください。
- お子様にはヘルメットを着用させて使用してください。着用させないでお子様を乗せると、事故時に致命的な障害を受ける確率が高くなります。また、運転者もヘルメットを着用するようおすすめします。
- シートベルトは消耗品です。異常がなくても、2年に1度は交換してください。
- お子様には必ず靴を履かせてください。
- 一般のシティ車に同乗できるお子様は1人です。それぞれの自転車で使用できるお子様の年齢、体重、身長範囲を守ってください。
- スタンドが安定した状態で立っているか確認をしてください。(スタンドのロックがかかっていることも確認してください)
- 本体、足乗せ、グリップ、ヘッドガード(オプション)の取り付けネジ等が、しっかり締まっているか、日常点検を行ってください。
- この商品はSGマーク認定基準を満たしていますが、大きな衝撃が加わると破損・変形・クラック等が発生することがあります。一度でも大きな衝撃を受けた場合は使用をやめ、十一点検してください。(また、販売店に点検を依頼してください。)

2. お子様に乗せる時の注意

⚠ 警告

- お子様は、荷物よりも後に乗せ、最初に降ろしてください。
- お子様に乗せるときには必ず正しい姿勢になっている事を確認し、特に足が車輪に巻き込まれることのないように注意してください。
- お子様が1人でチャイルドシートに乗り降りしないように注意してください。自転車が倒れるおそれがあります。またフットレスト(足乗せ)に体重をかけて乗り降りすると、大きな負担がかかり、こわれやすくなります。
- リヤキャリアにチャイルドシートを取り付けてお子様を乗せると、重心が後に移動するので、自転車の前側が浮き上がりやすくなる場合があるので、ご注意ください。また十分に慣れて、安全に運転できることを確かめてからご使用ください。

3. お子様をチャイルドシートに乗せたら

警告

- 必ず腰ベルト・股ベルトを使用してください。
- 腰ベルトはお子様のお腹に掛けずに、骨盤に掛けるように注意してください。
- 腰ベルト・股ベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。
- ヘッドガード（オプション）装着時には、必ず適正な高さで使用してください。
- お子様がグリップをしっかりと握るようにしてください。
- お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないでください。自転車が倒れてお子様がケガをする恐れがあります。



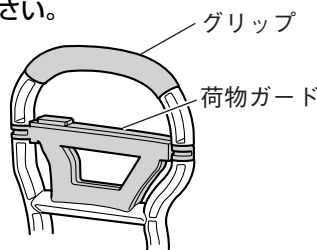
- お子様がチャイルドシートに着座したとき、ヘッドガードが頭部の中心より高くなるように調整してください。



4. 走行時の注意

警告

- 傘を差しながらなどの片手運転など、危険な行為は絶対にしないでください。
- お子様を乗車中はグリップをにぎらせてください。荷物ガードをにぎらせると、スキマに手・指をはさむおそれがあります。
- お子様が眠らないように注意してください。
- お子様が走行中に後輪錠を操作しないように十分注意してください。
- 段差のある場所ではお子様を乗せたまま走行しないでください。
- 走行中にお子様がチャイルドシートの中で立ち上がったり暴れたりしないよう、注意してください。
- 使用に当たっては交通法規を守ってください。



5. お子様をチャイルドシートから降ろすときは

警告

- 自転車を停車（駐輪）する場所はスタンドを立てたときに安定する場所を選んでください。
- ハンドルロック機構のある自転車は、ハンドルロックをした後にスタンドを立ててください。（スタンドのロックもかけてください）
- お子様をチャイルドシートから降ろした後は、シートベルトをバックルにはめるようにしてください。

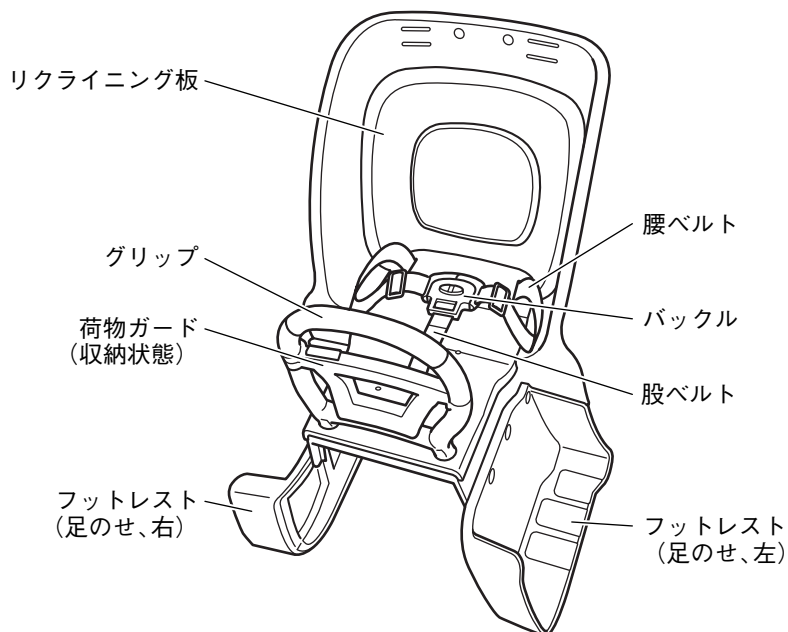


6. 保管のしかた

注意

- チャイルドシートは直射日光をさけて駐輪・保管し、雨ざらしにしないでください。

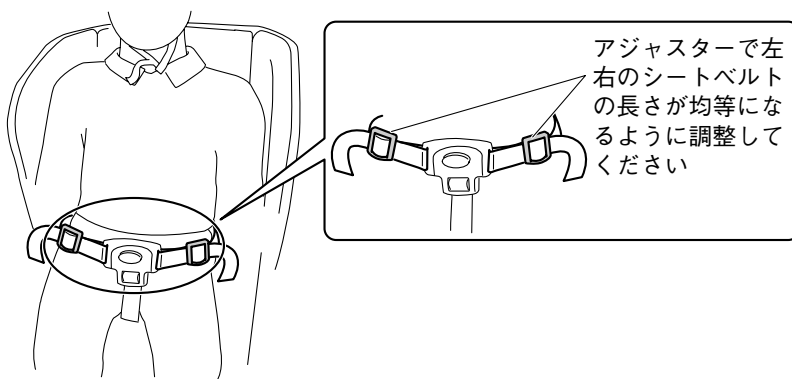
各部の名称



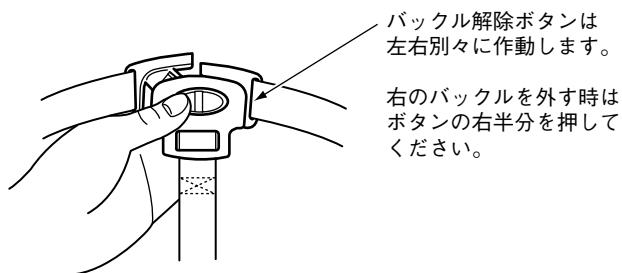
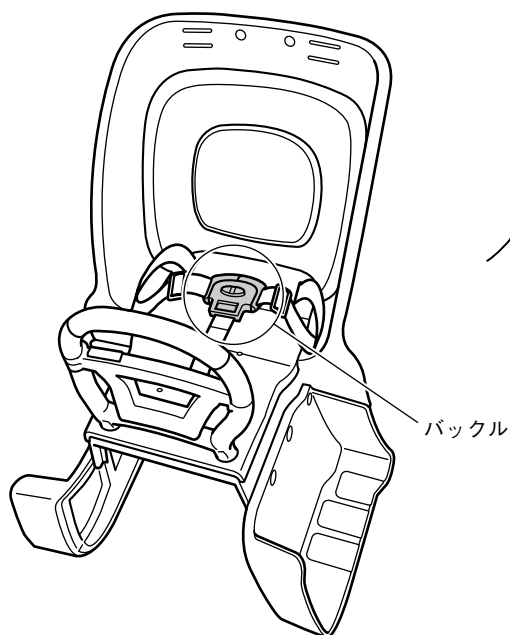
チャイルドシートの操作方法

1. シートベルトの調整

- シートベルトはお子様の体格や服装に合せて長さを調整してください。
- お子様を乗せた時には必ずシートベルトを装着してください。
- お子様を乗せていない時でもシートベルトのバックルをはめるようにしてください。
(バタツキ防止のため)



- バックルは左右別々に取り外すことができます。
- バックルは股下部にあります。



右のバックルを外す時は
ボタンの右半分を押して
ください。

シートベルトを装着する時はボタンが『カチッ』と音がするまでバックルを押し込んでください

2. フットレスト(足のせ)の高さ変更方法

⚠ 警告

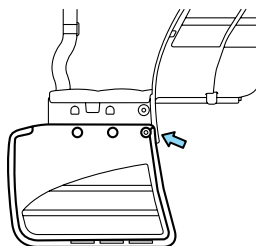
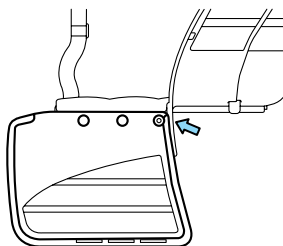
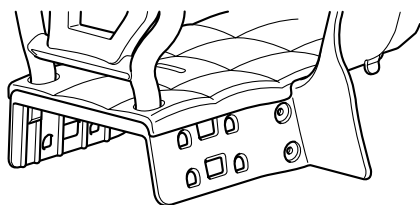
- 高さ変更は販売店にご依頼ください。

- フットレストはお子様の体格に合わせて高さを変更することができます。(上下2段階)

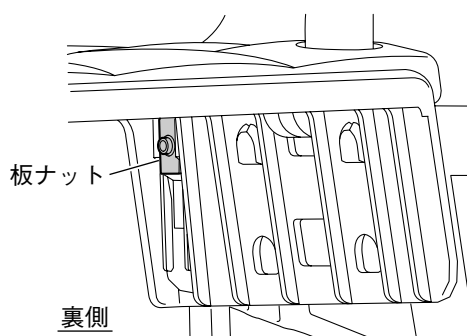
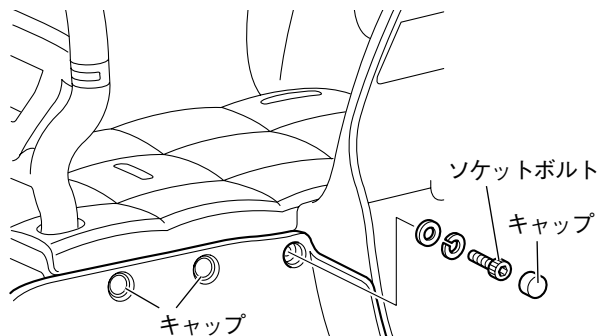
本体にはフットレストを上下2段に
高さ変更できるようになっています

フットレストを上段
位置に組付け

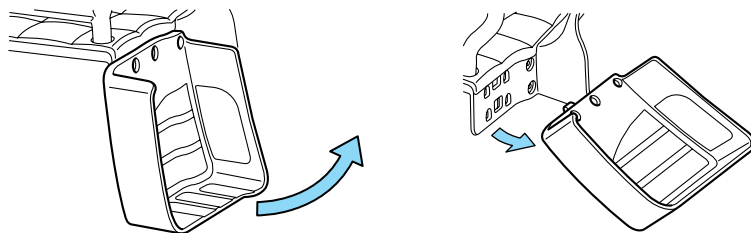
フットレストを下段
位置に組付け



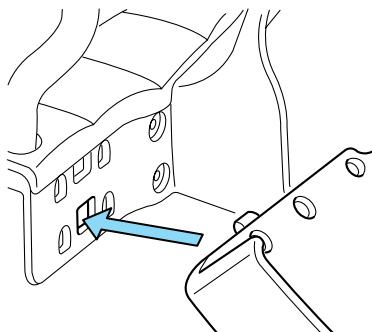
- ①高さ変更の際はキャップを外し、ソケットボルトをアーレンキー（六角レンチ）で外してください。
ボルトを外す際は裏側の板ナットが落下しますので、紛失しないように注意してください。



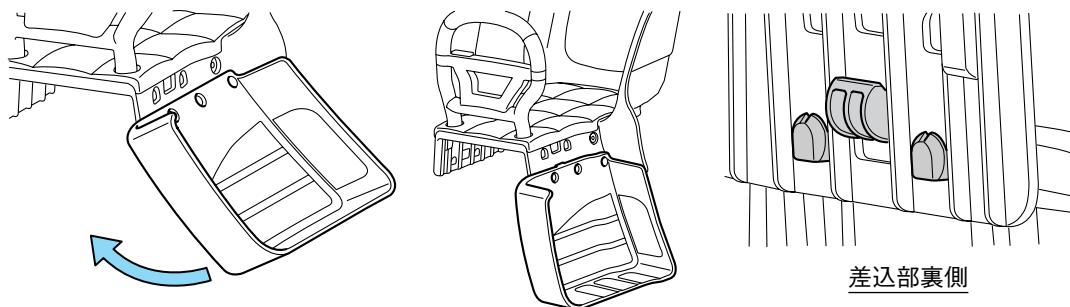
②フットレストの下側を持って外側に回転させながらフットレストを本体から外します。



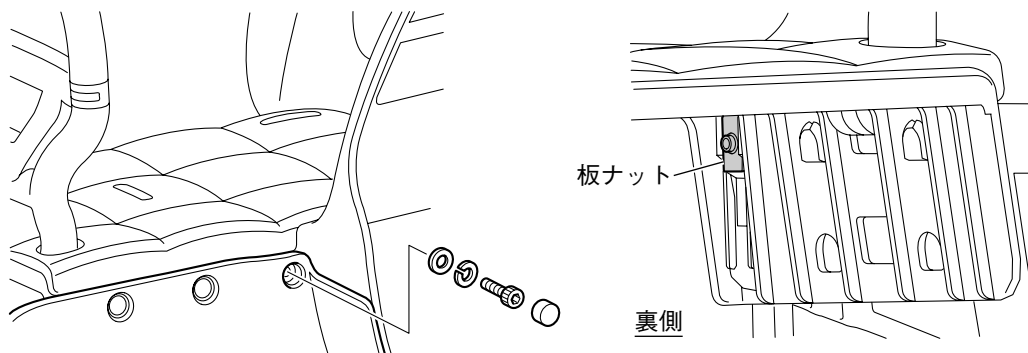
③図のようにフットレストを傾けながら、フットレスト上部中央のフックを本体側面にある組付けしたい高さの取付用の穴に差し込みます。



④次にフットレストをフックを中心として下向きに回転させながら、固定用の差込部（2箇所）を本体側面にある差込穴にはめ込んでください。（差し込み部がしっかりはまっていることを確認してください。）



⑤①で取り外したソケットボルト・バネ座金・平座金を使用してフットレストを本体に固定します。板ナットは裏側のリブにあわせてソケットボルトを締め込みます。〔締付トルク：3～4N・m（30～40kgf・cm）〕さらに、ネジ頭側にはネジキャップをはめ込んでください。



3. 背もたれ角度・座面調整方法

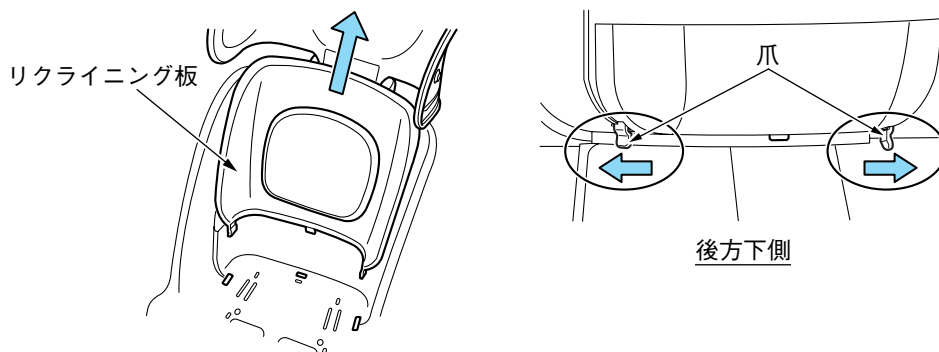
- お子様の体格に合わせて、リクライニング板を外すことにより、背もたれの角度を立たせて座面を広くすることが可能です。

警告

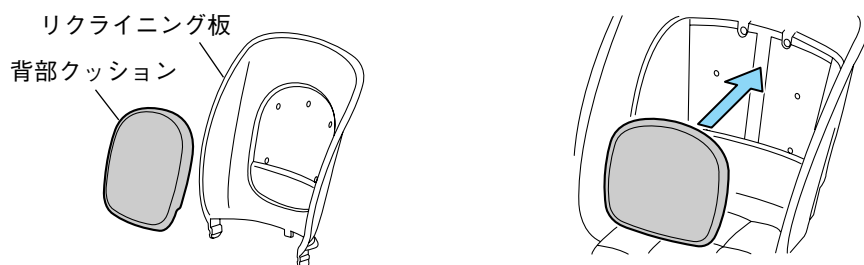
- まだ首が据わっていない、握りが握れないお子様に使用する際はリクライニング板を外さないでください。

- 背もたれ角度を立たせ、座面を広くしたい場合はリクライニング板を外します。

- ① リクライニング板の本体下側2ヶ所に引っかかっている爪を外側に広げながら上方に押し上げて、リクライニング板を本体から外します。



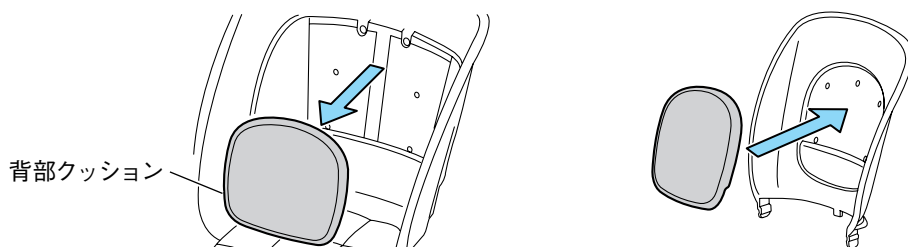
- ② リクライニング板に装着している背部クッションを剥がし、本体背当て部のクッション取り付け穴に背部クッション裏側の突起を挿し込み、背部クッションを固定します。



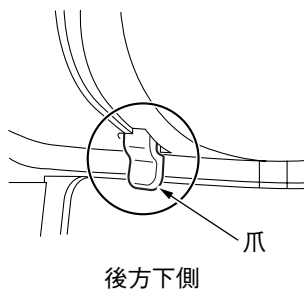
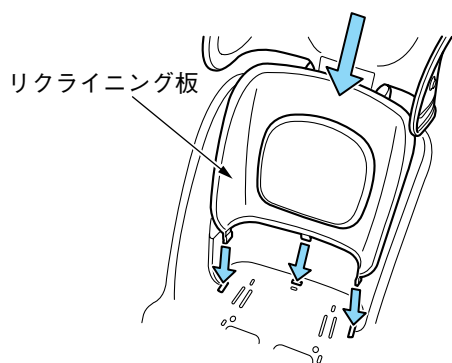
- ③ 取り外したリクライニング板は使用しませんので、直射日光の当たらない場所に保管してください。

- 背もたれ角度を寝かせ、座面を狭くしたい場合はリクライニング板を取り付けます。

- ① 本体背あて部に装着している背部クッションを剥がし、背部クッション裏側の突起をリクライニング板のクッション取り付け穴に挿し込み背部クッションをリクライニング板に固定します。



- ②リクライニング板の下側爪3箇所を本体の穴にあわせ、リクライニング板上部を本体に押し付けながら、リクライニング板を本体に差し込みます。装着後、リクライニング板がガタつかず、確実に固定されているか確認してください。



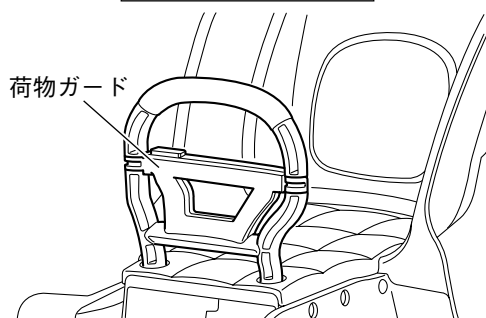
4. 簡易バスケットとして使用する場合

- 本チャイルドシートはグリップの荷物ガードを使用することで簡易的に荷物をのせることが可能です。以下方法で使用してください。

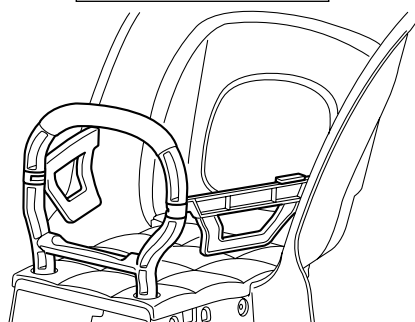
⚠ 注意

- 簡易的な機能ですので、荷物の落下にご注意ください。

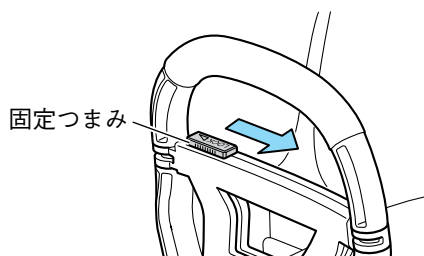
荷物ガード収納状態



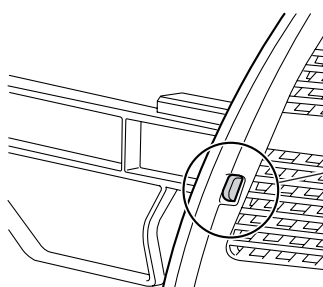
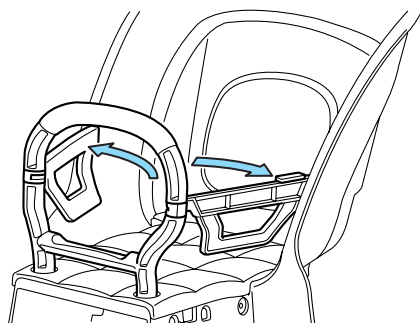
荷物ガード使用状態



- 荷物ガードを使用するとき
- ①グリップの下にある荷物ガード固定つまみを LOCK と反対方向にスライドさせます。



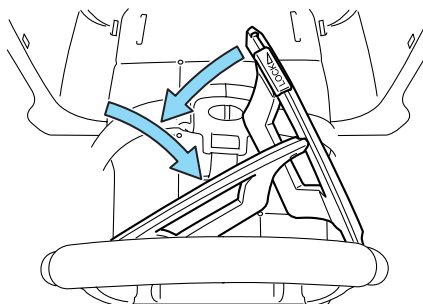
②荷物ガードをそれぞれ左右に開いて、荷物ガード先端を本体の荷物ガード固定穴にはめ込みます。



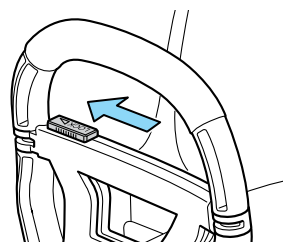
固定穴にしっかり
はめ込んでください

●荷物ガードを収納するとき

①荷物ガードを本体の荷物ガード固定穴から外し、荷物ガードを自転車右側から先にたたみます。



②荷物ガードを左右グリップに収納したら、荷物ガード固定つまみをLOCK方向にスライドさせ荷物ガードをロックします。
左右荷物ガードがしっかり収納されているか確認してください。



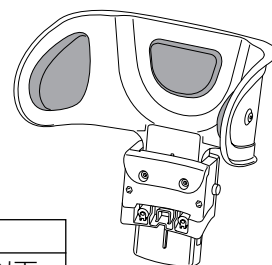
5. ヘッドガードについて（別売オプション）

●本チャイルドシートのオプションとしてヘッドガードを用意しております。
詳しくは販売店にお問い合わせください。

（組み付けは販売店にご依頼ください）

●オプションのヘッドガードを装着しても、お子様の適合年齢及び体重は変わりません。

また3人乗り（幼児2人同乗）にも適合しません。



リヤキャリアの仕様	お使いになれるお子様
MAX25kg表示（クラス25）	2歳以上、体重20kg以下、身長115cm以下
MAX18kg表示（クラス18）	2歳以上、体重13kg以下、身長100cm以下
MAX10kg表示（クラス10）	使えません（キャリアの強度が足りないため）

6. ヘッドガードの使い方（別売オプション装着時）

- ヘッドガードはお子様の体格に合わせて高さを調整してください（可動範囲は約8cm）。

⚠ 注意

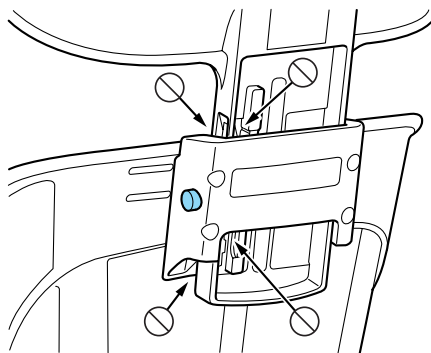
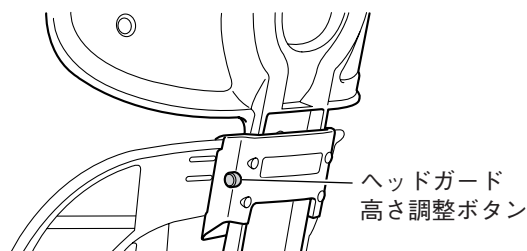
- ヘッドガード調整時のポイント




ヘッドガードをお子様の側頭部に合わせる

- ヘッドガードを上下することができます。

- ①ヘッドガードの高さを高くするときは、ヘッドガード上部をそのまま引き上げれば最高位置の1段手前まで高くなり、最高位置にする場合は側面のヘッドガード高さ調整ボタンを押しながらヘッドガードを引き上げれば調整可能です。（セーフティ機能）
- ②ヘッドガードの高さを低くするときは、高さ調整ボタンを押しながらヘッドガードを押し下げます。



⚠ 警告

- で指した隙間に指をはさまないようにご注意ください。
- お子様を乗せている時は、お子様の手などを隙間にはさまないようにご注意ください。

ブリヂストンサイクル株式会社

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3丁目1-1

お客様相談室

受付時間：9:00～12:00／13:00～17:00
(土・日・祝日及び弊社指定休日は休み)

フリーダイヤル：☎ 0120-72-1911

(携帯電話・国際電話・インターネット電話
でのご利用はできません)

IA00-713
9, K